

**斬新なデザインの
新校舎と
おしゃれな女子高中生**

2004年3月、銀色のパネルに包まれた近未来的な新校舎が竣工。4月には2年ぶりに、じゅん菜池公園そばの仮設校舎から生徒たちが戻ってきました。玄関前の花壇には「緑化委員会」が花を植え、女子校らしいかわいらしさを映し出しています。

新校舎に合わせるように、今年度の1年生から制服も一新されました。新旧様々な制服が混じり合い、さらに自分流に工夫して着こなしています。一番おしゃれに敏感で多感な年齢の彼女たち。めいっばい個性的に自分自身を表現しています。

「生徒数400人ほどの小規模な女子校の利点を生かして、生徒一人ひとり



**High School
Watching**

Fuji girl's high school

市川市の中心部・本八幡に位置する不二女子高等学校。少人数制による家庭的な雰囲気が生徒と教師の距離を縮め、和気あいあいとした会話が飛び交っています。一人ひとりの豊かな多様性をやさしく受け止める先生たちに見守られながら、心豊かに、伸びやかに成長していく生徒たち。あたたかな人間性を育てる不二女子高等学校を紹介します。



**個性尊重を
徹底する教育方針が
一人ひとりを大きく成長させる**
学校法人 奥野木学園
不二女子高等学校

生徒にとっての学校は「たくさんの友達と良い思い出をつくる場所」で、先生は「親や友達みたいに相談できる存在」。中には「家よりも学校の方が落ち着く」という子も。みんな雰囲気は今どきだが、内面は純粋。



をていねいに、こだわりを持って見守っているという方針なんです」と奥野木正彦校長は話します。

**2人担任制が原則
校長以外はみな担任**

1クラスに2人の担任を置き、一人ひとりに向き合うことで教師と生徒との関わりがより緊密になり、信頼関係が築き上げられています。各クラス35



2人の担任が、日々成長する生徒たちを見守る。

人程度の少人数制でありながら、英・数の授業ではさらにクラスを2つに分け、17〜18人体制で理解度を高めていきます。思ったことを素直に発言する生徒たちの声で、多くの授業は常ににぎやか。クラス全体で会話をしながら学んでいます。

また、特徴的な学習として3年生の保育実習があります。命の大切さ、子どもの成長などを学ぶために設けられた保育授業の体験学習として、年2回の保育実習を大町不二幼稚園で行います。小さな園児を前にして、はじめは戸惑いがちの生徒たちも、工作を手伝い、一緒に遊び、同じテーブルでお弁当を食べるころには、1人で何人も園児に気配り目配りをする余裕が出てきます。

「子どもが苦手な子が、園児と上手に接するほかの子を見て学ぶことも多いのです。元気いっばいの園児と過ごすことで、生徒たちもキラキラ輝き、顔に自信があふれているんですよ」と、保育実習を担当する石附宏子先生は言います。

保育実習は丸1日かけて園児と交流をする。お絵かきや粘土で遊んだり、紙芝居を読んだり、みんなで花いちもんめをしたり、と生徒それぞれが得意なことを生かして、園児たちと上手に遊ぶ。

